

写

倉敷市市民企画提案事業について

答 申

令和元年 7 月 3 0 日

倉敷市市民企画提案事業審議会

## 目 次

	頁
はじめに . . . . .	1
倉敷市市民企画提案事業の見直し . . . . .	2
審査方法の見直し . . . . .	4
委員名簿 . . . . .	5
参考資料	
( 1 ) 諮問書 . . . . .	6
( 2 ) 倉敷市市民企画提案事業審議会条例 . . . . .	7

## 1 はじめに

倉敷市市民企画提案事業審議会は、平成17年度の制度創設から15年という節目の年に倉敷市市民企画提案事業の見直しについて、審議を行う機会を与えられました。

審議に当たっては、主に制度の枠組みや審査方法の見直しを議題にして、これまで本制度が果たしてきた役割を踏まえ、さらなる市民活動の活性化や市民と行政の協働によるまちづくりの推進に資する制度とするための検討を行いました。そして、慎重に議論を重ねた結果、一定の方針をまとめることができましたので、ここに答申するものです。

この答申が、本制度の改善のきっかけになり、倉敷市の市民活動の活性化や、市民と行政の協働によるまちづくりを促進し、市民公益活動団体が実施する様々なサービスが市民に提供されることで、豊かな地域社会の実現に繋がっていくことを期待しています。

令和元年7月30日

倉敷市市民企画提案事業審議会

会長 田口 豊郁

## 2 倉敷市市民企画提案事業の見直し

倉敷市市民企画提案事業は、市民活動の活性化、市民と行政の協働によるまちづくりを推進することを目的に、市民公益活動団体（以下「団体」という。）の実施する事業に対して補助金を交付している。本制度では、団体が単独で事業を行う「自主事業コース」で経験を積んだ後、行政との協働事業である「市民提案コース」または「行政提案コース」へと発展していくことを目指している。

前回、平成26年度の見直しでは、団体の育成に重点を置き、自主事業コースの補助額の上限を20万円から30万円へ引き上げることで申込数の増加を図った。結果として申込数は6年間で23%増加（平均8.3件 10.2件）し、見直しの目的は達成できたといえる。

しかし、次の段階である、自主事業コースから行政との協働事業へ発展した事業は15%（20件中3件）に留まっており、自主事業コースで経験を積んだ団体が順当に協働事業へ移行しているとは言い難い結果となっている。

また、現在の制度への申し込みは「1年以上の活動実績」が必要である。これは、行政が補助事業の対象とする以上は、慎重に活動実績を見極める必要があるという趣旨である。ただ一方で、地域課題を自分たちの力で解決したいという意欲を持って活動を始めたいと考える市民にとって、スタートアップ時の資金確保がハードルとなり、最初の一步をためらってしまうといった事例も少なくない。

この度の見直しにより、当初の目的である「市民と行政の協働事業の事例を増やす」ための制度設計を行うとともに、新たにチャレンジする団体の資金的なハードルを下げ、市民公益活動の裾野を広げることを目指すものとする。

### (1) 制度全体の設計

本制度が「市民と行政の協働事業の事例を増やす」役割を担うという原点に立

ち返り，自主事業コースから行政との協働事業への発展に重点を置いた見直しが必要である。

平成26年度の見直しにより，自主事業コースの条件が改善された一方で，制度全体を見渡したときに自主事業コースから協働事業へステップアップするという流れが見えづらくなっているのが現状である。

このため，自主事業から協働事業に向けて段階的に条件を良くし，相対的に協働事業の魅力を高めることで，団体が協働事業へ取り組みたくなるよう，補助額の上限，補助率，補助対象経費などを調整することが必要である。

## (2) 自主事業コースの位置づけ

自主事業コースは，あくまで「協働事業に至る準備期間」であることを，利用する団体にわかりやすく伝える工夫が必要である。

上述した協働事業との位置づけの違いをはじめ，コースの名称の変更や募集要項での説明，事務局からの解説など，団体が本制度の趣旨を正しく理解した上でコースを利用できるよう丁寧に取り組んでいただきたい。

## (3) 新たなチャレンジの支援

団体の新たなチャレンジを支援するために，活動実績がなくても利用できるコースを新たに追加することが望ましい。

ただし，活動実績がある団体と比べて，計画の実現可能性に不安があることは否めないため，「小さく始めて大きく育てる」という方針のもとに，補助額の上限，補助率，補助対象経費などを設定することが適当である。

また，このコースの採択に当たっては，他のコースとは別枠で審査することが望ましい。活動実績の有無は，団体の印象や計画の実現可能性の評価に大きく影響する。活動実績のある団体と同一の枠で審査することは，それらの点で活動実

績のない団体に不利となり，市民の新たなチャレンジを支援するという観点からも一定の配慮が必要である。

### 3 審査方法の見直し

現在の採点方法は，1点刻みで採点する方式を採用しており，細やかな採点が可能となっている反面，1点の違いをそれぞれの採点者でうまく設定できていないと，複数の計画を並べたときに整合が取れていないことがある。このため，各項目を5段階程度で評価する方式に見直すことで，審査の整合性が確保できると考える。

また，採点者がその事業に対し，総合的な見地から採択に対する意思表示を行う工夫が必要と考える。現在の5つの区分で対応するのは難しいので，新たな区分を追加するのが適当である。

最後に，現在50点に定めている採択ラインは，この度の見直しを踏まえ60点に改めることが望ましい。

## 倉敷市市民企画提案事業審議会委員名簿（第7期）

令和元年6月27日現在

氏名（敬称略）	所属等
あべ のりこ 阿部 典子	NPO法人みんなの集落研究所 首席研究員
いしい けんじ 石井 謙次	備中県民局 地域づくり推進課 課長
いしだ まい 石田 麻衣	太陽綜合法律事務所 弁護士
きど けいこ 木戸 啓子	倉敷市立短期大学 保育学科 教授
しんみょう としき 新名 俊樹	くらしき作陽大学 音楽学部音楽学科長 准教授
すやま たかやす 須山 恭安	NPO法人倉koi実行委員会 代表理事
せのお じゅんこ 妹尾 順子	南浦地区社会福祉協議会役員 愛育委員
たくち とよひろ 田口 豊郁	川崎医療福祉大学 医療福祉学部子ども医療福祉学科 特任教授
なんば まさお 難波 政雄	藤戸天城コモンライフ町内会会長 三井造船OB
ひらまつ もとお 平松 基生	玉島信用金庫 営業統括部長

50音順

倉敷市市民企画提案事業審議会

会長 田口 豊 郁 様

倉敷市市民企画提案事業について（諮問）

倉敷市市民企画提案事業実施要綱（平成18年11月21日施行）第7条第2項の規定に基づき、次の事項について諮問します。

令和元年6月27日

倉敷市長 伊 東 香 織



記

- 1 倉敷市市民企画提案事業の見直し
- 2 審査方法の見直し



# 倉敷市市民企画提案事業審議会条例

平成18年6月30日

条例第46号

## (目的及び設置)

第1条 市民団体等が企画立案した事業(以下「市民企画提案事業」という。)の審査,評価等を行うため,倉敷市市民企画提案事業審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

## (所掌事務)

第2条 審議会は,次に掲げる事項を所掌する。

(1) 市民企画提案事業の審査及び評価

(2) 前号に掲げるもののほか,市民企画提案事業に関する事項

## (組織)

第3条 審議会は,委員12人以内で組織する。

2 委員は,市民,学識経験者等のうちから市長が委嘱し,又は任命する。

3 委員の任期は2年とし,補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。ただし,再任を妨げない。

## (会長及び副会長)

第4条 審議会に,会長及び副会長各1人を置き,委員の互選によってこれを定める。

2 会長は,審議会を代表し,会務を総理する。

3 副会長は,会長を補佐し,会長に事故があるとき,又は会長が欠けたときは,その職務を代理する。

## (会議)

第5条 審議会の会議は,必要に応じて会長が招集し,会長が議長となる。

2 会議は,委員の過半数が出席しなければ,開くことができない。

3 会議の議事は,出席委員の過半数をもって決し,可否同数のときは議長の決するところによる。

4 会長が必要と認めるときは,関係者の出席又は資料の提出を求めることができる。

## (委任)

第6条 この条例に定めるもののほか,審議会の運営に関し必要な事項は,市長が別に定める。

## 附 則

( 施行期日 )

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

( 任期の特例 )

- 2 この条例に基づき、最初に委嘱され、又は任命された委員の任期は、第3条第3項の規定にかかわらず、委嘱され、又は任命された日から平成20年3月31日までとする。

( 会議の招集の特例 )

- 3 この条例による最初の会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

( 関係条例の一部改正 )

- 4 特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(昭和42年倉敷市条例第23号)の一部を次のように改正する。

別表中「

行政評価委員会委員	日額 7,100円	同上
-----------	-----------	----

」を「

行政評価委員会委員	日額 7,100円	同上
市民企画提案事業審議会委員	日額 7,100円	同上

」に改める。